

公共事業の環境変化と説明責任の必要事情

2001. 12. 26

月尾嘉男

1. 成長社会から安定社会
→ 量的目標達成から質的目標達成
2. 生産中心から生活中心
→ 環境開発事業から環境回復事業
3. 予算増大から予算縮小
→ 直轄維持手法から住民参加手法
4. 集権構造から分権構造
→ 上意下達計画から下意上達計画
5. 世界共通から地域固有
→ 全国画一計画から地域独自計画

百年の転換: 逆転の社会

- 量的増大から量的縮小への転換
- 生産優位から生活優位への転換
- 集中構造から分散構造への転換
- 物質中心から情報中心への転換
- 開発主導から回復主導への転換
- 官尊民卑から民高官低への転換
- 世界標準から固有文化への転換

百年の戦略: 情報の役割

- 生活優先がもたらす地域の再生

会社優先による地域放棄 = 地域の崩壊

↓
情報の役割 = 移動の削減

↓
生活優先による地域関心 = 地域の再生

百年の課題: 喪失の回復

- 量的縮小による幸福の追求
- 生活優位による地域の再生
- 分散構造による地方の発展
- 情報中心による経済の再編
- 環境回復による国土の復興
- 民間率先による社会の維持
- 固有文化による日本の復活

百年の戦略: 情報の役割

- 分権行政がもたらす地方の発展

集権行政による地方搾取 = 地方の疲弊

↓
情報の公開 = 権力の分散

↓
分権行政による地方自覚 = 地方の発展

百年の戦略: 情報の役割

- 多様尺度がもたらす幸福の実感

画一尺度による格差意識 = 全員の不幸

↓
情報の本質 = 多様の価値

↓
多様尺度による各自意識 = 各自の幸福

百年の戦略: 情報の役割

- 情報創造がもたらす経済の再編

物質生産による規模志向 = 構造の硬直

↓
情報の価値 = 一番に価値

↓
情報創造による速度志向 = 構造の再編

百年の戦略:情報の役割

□環境回復をもたらす国土の再生

開発主義による環境破壊=国土の崩壊



情報の利用=環境の保全



保全主義による環境回復=国土の再生

百年の戦略:情報の役割

□民間主導をもたらす社会の維持

官僚主導による制度維持=維持の高騰



情報の開示=民間の自覚



民間主導による社会維持=低廉な維持

百年の戦略:情報の役割

□模倣脱却をもたらす日本の自信

先進模倣による追随主義=自信の喪失



情報の価値=固有の価値



文化創造による固有主義=自信の回復